

平成 年 月 日

社団法人 家畜改良事業団  
理事長 横内 圀生 殿

借受希望者住所

団体（農家）名

代表者役職・氏名

家畜個体識別連携システムの導入及びハンディターミナル等の機器の貸与申請

このたび、効率的家畜個体情報の実施にあたり、家畜個体識別連携システムを導入いたしたく、また運用のためのハンディターミナル等の機器を貸与していただきたいので申請致します。

記

1. システム導入団体名

2. 団体（農家）コード

3. PC設置場所及び住所

4. 責任担当者氏名

5. 導入希望年月日

平成 年 月 日

6. その他

注) 別紙「効率的個体情報収集体制整備事業の円滑な推進についての調査書」を添付すること。

(別紙)

効率的個体情報収集体制整備事業の円滑な推進についての調査書

家畜個体識別連携システムの導入にあたっての留意事項を承諾の上、下記のとおり申請いたします。

1 貸与希望先について

管理者名 (団体名) \_\_\_\_\_

正式名称で記入願います。

管理者コード \_\_\_\_\_ (10桁番号)

所属団体名 \_\_\_\_\_

所在地 (機器送付先) 〒 \_\_\_\_\_

実務担当者 \_\_\_\_\_ 実務副担当者 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_

E-MAIL アドレス \_\_\_\_\_

利用希望システム ID連携システム ・ LOシステム (○をつける)

ISDN (INSネット64) 番号 \_\_\_\_\_ ※

※(ID連携システムの場合は必須。LOシステムでの利用の場合は、記入不要。)

現在の報告方法 \_\_\_\_\_

実務担当者のパソコン操作の習熟度

- 1 電子メールの送受信の操作ができる。
- 2 パソコンソフトのインストール、アンインストールができる。

報告区分	1 と畜場	2 家畜市場
	3 農協 (家畜商など)	4 大規模農家
	5 育成牧場	6 その他

記入者名 \_\_\_\_\_ 部署 \_\_\_\_\_

紹介者名 \_\_\_\_\_ 連絡先 TEL \_\_\_\_\_

2 HT等貸与希望数

(1) ハードウェア

1) ハンディーターミナル (HT)	_____	セット
2) モバイルプリンター	_____	セット
3) J E T E y e (IrDAアダプタ)	_____	機
4) ターミナルアダプタ (TA)	_____	台

(2) ソフトウェア

1) 連携システム (PCとHT)	_____	セット
2) p c Anywhere (遠隔支援プログラム)	_____	セット

(遠隔支援プログラムは、著作権の関係から購入をしていただく場合があります。(市価、1万数千円程度)また、機器の在庫状況によっては、貸与できない機器については、購入いただくことが発生する場合があります。)

3 ハンディーターミナル等貸与希望先の既存機器について

1) ハード及び機器構成

パソコン(PC) (メーカー及び型番) \_\_\_\_\_

ハードディスク容量及びメモリ容量 \_\_\_\_\_

プリンタ (メーカー及び型番) \_\_\_\_\_

ターミナルアダプタ(TA) (メーカー及び型番) \_\_\_\_\_

2) パソコンのOS、ブラウザ(Internet Explorer、Netscape Navigator等)等

OSの種類: \_\_\_\_\_

ブラウザの機種: \_\_\_\_\_ バージョンの内容: ver. \_\_\_\_\_

ウイルスソフトの種類: \_\_\_\_\_

ネットワークセキュリティの有無    1 有                    2 無

3) COMポート(RS-232C 9ピン接続コネクタ端子)の数をご記入下さい。

COMポートの数: \_\_\_\_\_

4 年間取扱い頭数 \_\_\_\_\_ 頭

5 年間利用日数 \_\_\_\_\_ 日/年

6 コンピュータ管理等電算部署及び担当者の存在    1 有                    2 無

(参考)

貸与を希望した具体的な理由 (できるだけ詳しく)

---

---

---

---

---

## <別 紙>

# 家畜個体識別連携システムの導入にあたっての留意事項

## I. 家畜個体識別連携システムの適正運用

1. 個体識別（ID）連携システムとは、と畜場、家畜商、家畜市場、育成牧場及び大規模農家等において牛の異動報告を正確かつ迅速に行うためにバーコードリーダーを用い、耳標等のバーコードを読み取り、イントラネット（NTT-PC（CUNets））を利用して、家畜個体識別センターへ報告するシステムのことです。
2. また、バーコードリーダーに読み込んだ個体の履歴情報を一括して検索することも出来ます。  
このID連携システムは、異動報告を簡便化したシステムですので、頭数が多い場合、若しくは、毎日異動報告が発生する場合に最適です。
3. お、出生報告あるいは少数の異動報告、JA等団体による農家代行報告等には、LO（ローカルオフィス）システムの導入をお勧めいたします。

（LOシステムとは、PC上で出生報告および異動報告を手入力し、その入力データをインターネットのE-Mail（電子メール）添付機能を使用して、報告するシステムです。）

## II. ID連携システム導入の前提条件

1. パソコンの処理能力等について

(1) 対応OSは **win98・winME・win2000・winXP** です。（**win95・winNT及びVista（開発中）**は使用できません）また、これと同等の機種であっても、ハードディスクの残容量の少ないもの等は、使用できません。

- （  
① ハードディスク容量は**1G**以上あること  
② メモリは**64MB**（128MB以上を推奨）であること  
③ CPUが**Pentium133MHz**以上であること  
）

- (2) 通信レポートについて

- 1) パソコンに取り込んだデータを家畜個体識別センターに報告するため、「バーコードリーダー」を接続する通信ポートは、USBポートが必要です。
- 2) バーコードリーダーで取り込んだデータをパソコンに取り込むため、「赤外線アダプタ」を接続する送信ポートは、COMポートが必要です。

（赤外線アダプタを通信ポートに接続するため、この接続口がない場合は、USB変換アダプタ（ELECOM社製のRS-232C変換アダプタ（UC-SGT）（定価5000円））の別途購入が必要です。  
（「補足・用語説明」③、④を参照）

(3) ISDN 回線 (INS64) が必要です。

アクセス管理と送信者の特定のため、ID連携システムを導入される団体は ISDN 回線 (INS64) が必要です。(「補足・用語説明」①を参照)

1) 電話回線が代表電話等しかない場合には、新規に ISDN 回線が必要です。

また、既存の単独アナログ電話回線・FAX 回線があれば、ISDN 回線に変更可能です。

2) なお、まだ取得されていない場合は、最寄の NTT に ISDN 回線取得の申し込みが必要です。(申し込んでから設置までに 2 週間程度かかります。)

3) 既に、ISDN 回線を取得されていても、ルーター等を使用されている場合は、遠隔支援プログラムによるインストール作業等が出来ないため対応できません。

4) ADSL は、CUNets に接続できませんので、ISDN 回線の設置が必要です。

5) フレッツ ISDN は、ISDN 回線を使用しますが NTT が提供するインターネット回線のため 本システムには対応しておりません。

6) CUNets を通じて、家畜個体識別部センターのサーバーに接続する際、発番認証が必要となりますので、ISDN 番号が決定後、連絡をお願いします。また、ISDN 番号が変更になった場合も同様に連絡していただくことが必要です。

(4) ターミナルアダプタ (TA) の仕様について

1) システムサポートのために、遠隔操作プログラム (pcANYWHERE) をインストールしますので、(社)家畜改良事業団システム環境との相性から NEC 社製のターミナルアダプタ AtermIT22?・32・42 シリーズが必要です。(ワイヤレスで使用することは不可ですので、必ず、ISDN 回線およびパソコンに有線で接続して使用いたします。)

2) NEC 社製のターミナルアダプタ (DSU 内蔵) は、単独で ISDN 回線に接続していただきます。(「補足・用語説明」②を参照)

(既に、ISDN 回線をルーターで使用されている場合は使用出来ません。推奨する TA (ターミナルアダプタ) 以外の機器を使用する場合は、サポート対象外とさせていただきます。)

(5) ネットワーク利用料金について

1) CUNets 加入手続きが必要です。加入後は毎月使用の如何にかかわらず利用料金がかかります。

- ・ CUNets 新規加入料：2,000 円程度
- ・ CUNets 月額費用：500 円程度 (事業特別価格、月内利用可能時間 1 時間以内の場合の最低月額。他にもプラン設定あります。)
- ・ 利用可能時間を超過した場合、7 円/分の追加料金が発生します。
- ・ プラン変更は変更手数料がかかります。(1 回毎 1,000 円程度)

〔 ・アクセスポイントまでの通話料金は有料となります。 〕

- 2) 加入手続きについては、(社)家畜改良事業団が NTT-PC へ直接行います。
- 3) 貸与が決定した場合は、おって(社)家畜改良事業団より新規申込書を送付いたしますので、必要事項をご記入の上申込書を返送して頂きます。

(6) 貸与物品の発送料、故障時の費用の負担について

- 1) バーコードリーダー等機器の送料・故障修理・維持費は自己負担です。
- 2) バーコードリーダー等の貸与は、「使用貸借契約書」の締結により実施することになります。
- 3) 締結後、機器等を送付することになりますが、送料等についても利用者負担となり、「受取人支払い」となります。また、返却配送料も利用者負担となります。
- 4) ご使用されるバーコードリーダー等は利用者に適切な維持管理をお願いしますので、故障等が発生した場合の修理等は、契約書に記載されている通り自己負担でお願いすることになっております。  
また、発送に係わる経費等も自己負担になりますのでご了承願います。

(7) ウイルス対策ソフトについて

- 1) 最近、インターネットよりウイルス感染をするパソコンが急増しております。ご使用のパソコンがウイルス感染した場合には、OSの再インストールからやり直さなければならないことが想定されます。
- 2) そのため遠隔操作ソフト (pcAnywhere) との相性とも鑑みて、Symantec社製のウイルス除去ソフト (ノートン アンチウイルス 2005 定価 5,000円) をご購入頂くことになります。

(8) ID連携システムの仕様の変更等について【重要】

- 1) ID連携システムのデータレイアウト等が変更になることがあります。本システムとリンクするシステムを各団体が独自開発していた場合、その独自に開発したシステムの変更は各団体で対応いただくことになります。
- 2) また、本システムと独自開発システムとリンクするシステムについては、全体像を把握していないため、システムサポート等の対応は困難ですので、あらかじめご承知願います。

(9) ID連携システムのセットアップについて【重要】

- 1) 受者が貸与されたソフトをインストール後、(社)家畜改良事業団 家畜個体識別センター ID連携システム担当者に連絡をお願いします。  
なお、少数精鋭で全国のユーザーサポートをしている都合上、事前に借受社名、セットアップ希望日をご連絡いただき、日程調整を行ないセット

アップとなりますのでご承知願います。

- 2) (社)家畜改良事業団では、借受者と連絡を取りながら、遠隔支援にて各種設定を行いますが、遠隔支援でできない部分については現地でセットアップすることとなりますので、担当者が不在にならないようお願いいたします。(所要時間：2～3時間程度、(設定状況によって時間を要します。))

### Ⅲ. ID連携システム導入における契約事項

1. ID連携システムを導入された場合には、ご報告の遅滞なく一定のルールに基づいて継続して頂くことが必要です。事業の趣旨を十分ご理解の上お申し込みください。
2. 契約締結後であっても使用の見込みがない場合は、契約を解除し物品を返却していただくことがありますので、あらかじめご承知願います。

留意事項についてのお問い合わせご質問等につきましては、以下までお願い致します。

(社)家畜改良事業団 家畜個体識別センター TEL 0248-48-0592

## <補足> 用語説明

### ① I S D N

#### **Integrated Services Digital Network**

「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称。  
TSS（電気通信標準化セクタ、旧 CCITT＝国際電信電話諮問委員会）が標準化している電話、ファクシミリ、テレックス、データ通信、ビデオテックス網を統合化するデジタル通信網の一般的な名称。ISDN（Narrow ISDN）では、64Kbit/s を基本速度としているが、この発展形態として150Mbit/s や600Mbit/s 程度までの高速通信能力を持ち、豊富なサービスの提供できるB-ISDN（Broadband Aspects of Integrated Services Digital Network）の標準化が現在進められている。

### ② D S U

#### **Digital Service Unit**

ISDN網に接続するための終端装置。局からの配線をこのDSUに接続し、デジタル電話機やデジタルFAX、ターミナルアダプタ（Terminal Adapter、TA）などの通信用端末はこのDSUに接続する。したがってISDN網に接続するには、通信用端末機器とは別に、DSUを用意する必要がある。ISDNを利用してコンピュータ通信を行なうには、DSUにTA（Terminal Adapter）を接続し、TAとPCをシリアルケーブルで接続する（外付け型TAを利用する場合）。最近ではTAにDSUが内蔵されている場合が多い。

### ③ C O Mポート

#### **コム・ポート COM port, communication port**

PC互換機に実装されているシリアルインターフェイスの別称。

### ④ R S - 2 3 2

#### **RS-232 standard**

RSは「Recommended Standard」の略。RS-232はEIA（Electronics Industry Association）が策定したシリアル通信の標準規格。25ピンのD-Subまたは9ピンのD-Subコネクタを用いる。規格上は25本の信号線すべてに対してその目的とタイミングが規定されているが、実際のデバイス接続では、このうちの数本しか利用されないことが多い（シリアル通信であるため、データを送る線はただ1つのみ）。'94年にこの規格の正式名称はTIA/EIA-232-Eとなったが、現在でも一般にはRS-232規格と呼ばれることが多い。